2026
11.21(土)
OPEN



JAPAN HERITAGE
日本遺産

日本遺産『鎮守府』を巡る 新たな拠点

させぼ立神近代化歴史公園


レンガ倉庫


ガイダンス施設


公園から見える風景

近代化の歩みからもっと佐世保を知る

佐世保の形成を知る

地形模型へのプロジェクションマッピングで、なぜ佐世保が軍港都市となったのかを視覚的に紹介します。



VRシアターで巡る

全国初！舵輪で視点操作。佐世保に点在する鎮守府の構成資産を巡る、大迫力のバーチャル探検に出発。



佐世保湾を駆け抜けろ！

プレイヤーの動作をセンサーが認識する体感型ゲーム。複雑な佐世保湾の地形が舞台です。



- ガイダンス施設内には物販・飲食店舗併設
- 来園無料（ガイダンス施設内の展示室のみ有料）

ACCESS

車
佐世保駅から約10分
西九州自動車道佐世保中央ICから5分
佐世保みなとICから15分

西肥バス
「光海中学校前バス停」下車
徒歩1分





営業時間	午前9時～午後5時（駐車場は夜間締切）
休園日	12/30～1/3、第2・4月曜（祝日は翌日）
展示室	収容人数 約50人 所要時間45～60分 料金1人300円（予定）
駐車場	普通車 33台 大型バス 2台

長崎県佐世保市立神町23番35

公園への車両の出入りは左折のみです。右折での入場・退出はできません。

2026 年 10 月 29 日

報道関係者 各位

佐世保市港湾部クルーズ事業推進課

佐世保港を舞台にした短編映画
『そいぎんた』制作決定！

佐世保の港とまち、人々の暮らしを描き、世界の映画祭へ

10 月 29 日から出演者募集を開始　市民とともにつくる映画プロジェクトが始動



佐世保市は、佐世保港や地域の魅力を国内外に広く発信するため、短編映画『そいぎんた』を制作します。

本事業は、佐世保港へのクルーズ客船の誘致や観光振興を推進する中で、「佐世保」という地名の認知度向上を目指す新たな取り組みです。

佐世保には九十九島やハウステンボスをはじめとする多彩な観光資源があります。今回、佐世保の港やまち並み、人々の暮らしを一つの物語として描くことで、国内外の方々に佐世保への関心を持っていただき、実際に訪れるきっかけをつくります。

監督には、佐世保市宇久島を舞台にした観光映像『宇久島』で観光庁長官賞を受賞するなど、国内外の映像祭で受賞実績を持つ、長崎県出身の野上鉄晃（のがみ てっこう）氏を迎えます。

国内外の主要映画祭への出品・受賞を目指し、佐世保ならではの風景や文化、人々の営みを、国や文化を超えて共感を呼ぶ作品として世界へ届けます。

また、映画制作への市民参加を促進するため、10 月 29 日（木）から出演者オーディションの募集を開始します。主要キャストとなる小中学生をはじめ、地域の皆さまのエキストラ出演も募集します。

映画の完成は 2027 年 2 月下旬頃を予定しており、制作過程から市民の皆さまとともに作品を育て、完成後は映画祭への出品や各種メディアによる情報発信、クルーズ観光への活用などを通じて、佐世保の認知度向上と観光振興につなげてまいります。

1. 短編映画『そいぎんた』について

作品タイトル：『そいぎんた』

「そいぎんた」は、佐世保で親しまれている方言で、「それじゃあ、またね」という意味の言葉です。

別れの挨拶でありながら、再会への思いも感じさせる言葉を作品タイトルとし、人との出会いや別れ、再び会いたいという気持ちを描きます。

【あらすじ】

佐世保で暮らす 12 歳の少年・ソラと、クルーズ船で佐世保を訪れた少女。

偶然出会った二人は、港や市場、海辺を歩きながら、佐世保の人々との何気ない交流を重ねていきます。

少年にとっては見慣れた日常が、少女にとっては初めて出会う風景。二人が一緒に過ごす時間を通して、佐世保のまちの新たな魅力に気づいていきます。

出会いと別れという、誰もが経験する普遍的な感情を通じて、心に残る一日を描く物語です。

【作品概要】

・作品名：短編映画『そいぎんた』
・事業主体：佐世保市
・監督：野上 鉄晃
・主な舞台：佐世保港、市内各所
・撮影時期：2027 年 1 月中旬から約 1 か月間（予定）
・完成時期：2027 年 2 月下旬頃（予定）
・今後の展開：国内外の映画祭への出品、国内外への情報発信、クルーズ船内での上映やロケ地周遊などへの活用を検討

※撮影時期や作品内容、今後の展開については変更となる場合があります。

2. 監督プロフィール

野上 鉄晃（のがみ てっこう）

1982 年生まれ、長崎県出身。長崎を拠点に、CM、観光映像、短編映画など幅広い映像制作を手がける映像ディレクター・映画監督。

地域の風景や人々の営みを物語として描く映像制作に定評があり、2018 年には南島原市を舞台にした『夢』、2022 年には佐世保市宇久島を舞台にした『宇久島』で、ショートショート フィルムフェスティバル & アジアの観光映像大賞（観光庁長官賞）を受賞。

2025 年には短編映画『ABYSS』が同映画祭の「最震賞 supported by CRG」を受賞し、出演者がベストアクターアワード、観客賞を受賞するなど、映画作品でも高い評価を得ている。

2026 年には監督作『彼方の声』が同映画祭で上映、第 12 回 Asian World Film Festival（AWFF）「FOCUS ON JAPAN 2026」Official Selection に選出　ロサンゼルス劇場にて上映される。

3. 出演者オーディションについて

短編映画『そいぎんた』の制作にあたり、主要キャストからエキストラまで、全国から幅広い世代の出演者を募集します。

特に、佐世保市民や佐世保市出身の皆さまの参加を歓迎します。

【募集対象】

・主要キャスト：8 歳～14 歳程度の男女（劇中年齢 12 歳前後を想定）

・小中学生のエキストラ：若干名

・地域の方々のエキストラ：若干名

※年齢は目安です。役柄との適合性等を踏まえて選考します。

※演技経験は問いません。

※未成年の方の応募には保護者の同意が必要です。

【応募・選考概要】

・募集期間：2026 年 10 月 29 日（木）～11 月 30 日（月）（予定）

・オーディション実施日：2026 年 12 月 8 日（火）～10 日（木）のうち 1～2 日間（予定）

・会場：新みなとターミナル 2 階 会議室（予定）

・所在地：長崎県佐世保市新港町 8-1

・選考結果発表：2026 年 12 月 24 日（木）（予定）

・参加費：無料

・応募方法：専用応募フォームから申し込み

・応募フォーム：https://www.nib.jp/form/204

応募には、顔写真と全身写真が必要です。過去に映像作品等への出演経験がある方は、作品名や映像 URL 等もご記入ください。

応募者多数の場合は事前選考を行い、選考を通過された方にオーディションの詳細をご案内します。

募集に関する詳細は、佐世保市ホームページ、市公式 LINE、佐世保市港湾部公式 Instagram でも随時お知らせします。

4. 映画を通じた佐世保の魅力発信

本事業では、佐世保の港やまちの風景と、そこで暮らす人々の姿を物語として描き、国内外の映画祭での評価を通じて「佐世保」という地域の認知度向上を目指します。

また、市民の皆さまが出演や撮影協力などを通じて映画づくりに参加することで、地域への愛着や誇りを育み、作品への関心と応援の輪を広げます。

完成後は、国内外の映画祭への出品をはじめ、クルーズ船内での上映やロケ地を巡る観光周遊などへの展開も検討します。

映画を通じて佐世保の風景や人々の魅力に触れた方々が、実際に佐世保を訪れ、まちを歩き、人々と出会う。

そのような新たな観光のきっかけを創出し、クルーズ客船の誘致や地域の観光振興につなげてまいります。

5. お問い合わせ

佐世保市 港湾部 クルーズ事業推進課 ｜ 電話：0956-25-9352
〒857-0855 長崎県佐世保市新港町８－１

佐世保港を舞台とした

短編映画「そいぎんた」

市長定例記者会見資料

令和8年10月29日



1 制作目的

クルーズ船の寄港地・佐世保港の魅力を国内外に発信し、認知向上と来訪促進につなげます。国内外の映画祭への出品・受賞を目指すとともに、市民参加型の映画制作を通じて、地域への愛着や誇りを育みます。

2 ストーリー

佐世保で暮らす12歳の少年と、クルーズ船で訪れた少女。偶然出会った二人が港や市場などを巡り、人々との何気ない交流を重ねます。見慣れた街の新たな魅力に気づきながら、佐世保で忘れられない一日を過ごす物語です。

3 監督プロフィール

野上鉄晃 監督／長崎県出身

佐世保市・宇久島を舞台にした観光映像「宇久島」を監督。
「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア 2022」で観光映像大賞を受賞。

4 作品の特徴

暮らす人と訪れる人、それぞれの視点から佐世保の日常に息づく魅力を描きます。出会いと別れという普遍的な感情を通して、佐世保ならではの風景や人々の暮らしを伝え、国や文化を超えて共感できる作品を目指します。

5 出演者オーディション

募集期間	令和8年10月29日（木）～11月30日（月）（予定）
募集対象	全国から応募可能。演技経験不問。佐世保市民・出身者等の参加を歓迎
募集内容	主要キャスト・その他配役・エキストラなど幅広い世代の出演者
オーディション	令和8年12月8日（火）～10日（木）のうち1～2日間（調整中）
結果発表	令和8年12月24日（木）頃（予定）
応募方法	専用ホームページの応募フォームからお申し込みください。
参加費	無料

※出演条件・交通費等の詳細は、出演候補者と個別に調整します。

オーディション応募フォーム

※詳細は裏面をご確認ください。

6 今後の予定

令和8年10～11月 出演者オーディション募集	令和8年12月 オーディション実施 ・結果発表	令和9年1月中旬頃 佐世保市内で撮影	令和9年2月下旬 作品完成予定

短編映画「そいぎんた」
出演者オーディション 応募案内

1 募集概要

募集期間	令和8年10月29日（木）～11月30日（月）（予定）
募集対象	全国から応募可能／演技経験不問
募集内容	主要キャスト・その他配役・エキストラ／12歳の男女を含む幅広い世代
参加費	無料

2 オーディション・撮影予定

オーディション	令和8年12月8日（火）～10日（木）のうち1～2日間（調整中）
会場	新みなとターミナル2階 会議室（佐世保市新港町8-1／予定）
結果発表	令和8年12月24日（木）頃（予定）
撮影・完成	令和9年1月中旬頃撮影／2月下旬完成予定

3 応募前の確認事項

応募多数の場合は書類選考を行い、オーディションへの参加は映画出演を確約するものではありません。未成年者は保護者の応募同意が必要です。出演条件・日程・交通費等は出演候補者と個別に調整します。提出情報・写真は選考や連絡等に使用し、オーディションの記録・広報撮影を行う場合があります。映画本編・映画祭・上映会・関連広報での映像や写真の利用条件は出演決定時にご案内します。日程・会場は変更となる場合があります。

4 応募フォームの入力項目（Q1～Q27）

応募フォーム原稿に基づき、全27項目と必須・任意区分、選択式設問の回答内容を掲載しています。
顔写真・全身写真の提出が必要です。18歳未満の方は保護者情報と応募同意が必要です。

Q1 氏名 — 必須
姓・名をご入力ください。

Q2 ふりがな — 必須
ふりがなを入力。

Q3 生年月日 — 必須
日付で入力。

Q4 性別 — 任意
男性／女性／その他／回答しない

Q5 お住まいの都道府県・市区町村 — 必須
番地等の詳細な住所は不要です。

Q6 佐世保との関わり — 必須・複数
佐世保市在住／佐世保市出身／佐世保市内に通勤・通学している／家族・親族が佐世保にいる／仕事や活動等で佐世保と関わりがある／旅行等で訪れたことがある／これまで特に関わりはない／その他

Q7 電話番号 — 必須
日中に連絡の取れる電話番号。

Q8 メールアドレス — 必須
選考結果やオーディションの案内先。

Q9 職業・学校等 — 任意
記述式。

Q10 希望する出演形態 — 必須・複数
セリフのある役柄への出演を希望／エキストラとしての出演を希望／どちらでも参加したい／制作チームにお任せしたい

Q11 演技・出演経験 — 必須
経験あり／経験なし

Q12 主な出演歴・活動歴 — 任意
映画・テレビ・舞台・演劇等の経験を記入。

Q13 自己紹介・応募理由 — 必須
ご自身の紹介、出演してみたい理由を記入。

Q14 趣味・特技 — 任意
スポーツ・音楽・ダンス・語学・地域活動等。

Q15 佐世保について印象に残っていること・好きなところ — 任意
佐世保での思い出、好きな場所・風景など。

Q16 顔写真 — 必須
最近撮影した顔がはっきり分かる写真を添付。

Q17 全身写真 — 必須
最近撮影した全身が分かる写真を添付。

Q18 オーディション参加可能日 — 必須・複数
12月8日（火）／12月9日（水）／12月10日（木）／現時点では未定・要相談

Q19 参加可能な時間帯・日程上の希望 — 任意
時間帯・日程上の希望があれば記入。

Q20 令和9年1月中旬頃の撮影への参加について — 必須
参加可能／日程によって参加可能／現時点では未定・要相談／参加が難しい見込み

Q21 撮影参加にあたっての希望・確認事項 — 任意
日程・移動など事前に伝えたい事項。

Q22 応募時点で18歳未満ですか — 必須
はい／いいえ

Q23 保護者氏名 — 該当者必須
18歳未満の場合に入力。

Q24 保護者電話番号 — 該当者必須
18歳未満の場合に入力。

Q25 保護者の応募同意 — 該当者必須
「保護者が本オーディションへの応募に同意しています。」を確認。

Q26 制作チームへの連絡事項 — 任意
事前に伝えておきたいことを記入。

Q27 応募に関する同意 — 必須
「上記の確認事項および別途掲載する個人情報の取扱いを確認し、同意のうえ応募します。」にチェック。

※記載内容は提供された応募フォーム原稿に基づきます。応募前に専用ホームページの確認事項と個人情報の取扱いをご確認ください。

子育てポータルサイトのリニューアル
子ども未来部Instagramアカウント開設

R8.10.29定例記者会見配付資料

子ども政策課　末原（内線5412）

◉背景

・子育て支援制度やサービスは多岐にわたり、子育て世帯にとって分かりやすく
　必要な情報を探しやすい情報発信が求められている。
・スマートフォンやSNSの普及などにより、情報の探し方や受け取り方の多様化している。

◉目的

・子育て世帯が必要な情報を受け取り、
　安心して制度やサービスを利用できる
　環境づくり

・本市の子育て支援への理解促進と
　子育てを支える意識の醸成



子育てポータルサイトのリニューアル

◉サイト名

佐世保市子育てポータルサイト

（https://www.city.sasebo.lg.jp/kodomomirai/kodosei/kosodate-portal.html）

◉リニューアル公開日時

令和８年１０月２９日（木）

パソコン版



スマートフォン版



子育てポータルサイトのリニューアル（トップページ）

◉リニューアルのポイント

❶親しみやすく直感的に操作できるデザイン

❷内容別・対象別に探せる構成

❸よく利用される内容やおすすめ情報を掲載

❹子育てを支える方への情報導線



❸〔トピックス〕
トップページにおすすめ情報を掲載



❷
〔内容から探す〕
「妊娠・出産」「あずける・通う」など、知りたい内容別の入口

〔対象から探す〕
子どもの年齢や家庭の状況に応じた入口



❹〔市の取組・支援者向け〕
事業者の方や支援者向け情報への入口

子ども未来部Instagramアカウント開設

◉アカウント名

【公式】佐世保市子ども未来部
（https://www.instagram.com/sasebo_komirai/）

◉運用開始日

令和８年１０月２９日（木）

◉目的

- 子育て支援制度やサービスを知るきっかけづくり
- 幅広い世代への子育て支援の周知

◉発信内容

子育て支援制度やサービス
イベント情報
子育て支援施設
子育てに役立つ情報　など



●発信のポイント
利用者目線の親しみやすい投稿
画像や動画を活用したわかりやすい制度・サービスの紹介

【地域働き方・職場改革】協議会の設立について

協議会名称

佐世保市地域働き方・職場改革推進協議会（仮称）

※10/29開催の第1回会議で正式名称を決定

背　景

若年層の転出超過が続く要因の一つには、若者や女性がキャリア形成を求めて都市部を選択していることや、地域の職場の魅力が十分に認識されていないことが考えられる

目　的

若者や女性に選ばれる地域づくりを推進すること

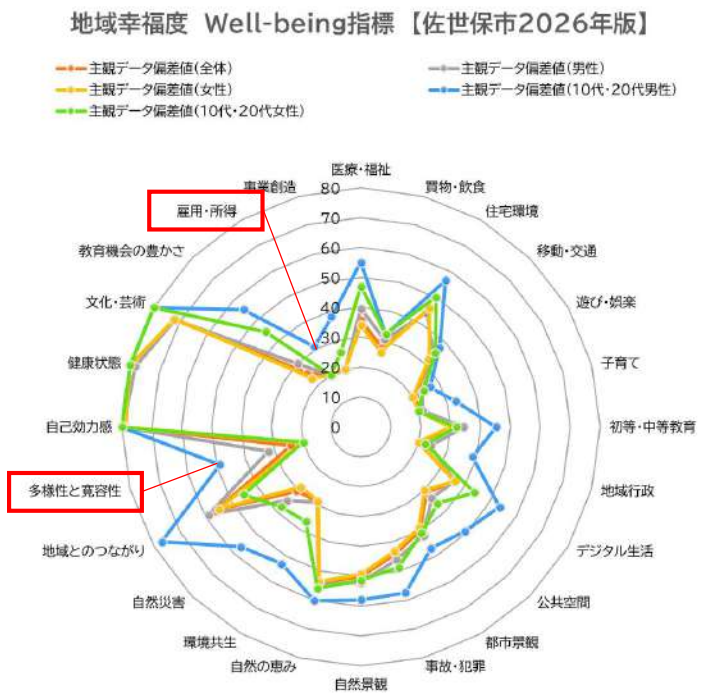
推進事項

1　若者及び女性に選ばれる職場環境づくりに関すること
2　多様で柔軟な働き方の推進に関すること
3　地域企業の人材確保・定着及び人材育成に関すること

参画メンバー

- 経済団体（商工会議所・長崎経済同友会）
- 金融機関（十八親和銀行）
- 教育機関（長崎県立大・長崎国際大・長崎短大）
- 女性活躍応援宣言登録事業所（６社）
- 行政機関（長崎労働局・ハローワーク佐世保）
- 佐世保市関係部署（５課）

地域幸福度（2026年版）



【地域働き方・職場改革】中学生対象の企業見学バスツアーについて

背　景

- 地方における人口減少の状況に対して、内閣府が「地域の働き方・職場改革等」の取組を推進しており、佐世保市も若年層の市外転出抑制に向けて、参加している。
- 人手不足の深刻化により、県や労働局は高校・大学を対象とした合同企業面談会等を展開している。
- 一方、中学生は高校選択の際に将来的な就職を見据えた選択を行っている。

目　的

- 地元企業（特に女性活躍応援宣言事業所）の認知度向上
- 職業観形成の初期段階にアプローチし、進路の選択肢を広げ、将来的な地元定着やUJIターンへの基盤づくりを行う。

事業概要

①市内の中学２年生を対象とした企業見学バスツアーを実施
②見学会の様子や企業情報について、デジタルガイドブックを作成し、市内の全中学校に提供

実施方法

①バスツアー
●対象：市内の中学２年生
（令和８年度は浅子・宇久・吉井・宮で実施予定）
※令和８年度は離島や単学級を優先

●方法：半日または１日コース
※学校において、事前に一般的な職業観についての予備学習、見学会後に地元企業についての学習や研究などを実施
※令和８年度は、半日コース（2社）にて実施予定

②デジタルガイドブックの配信
企業が作り出す製品やサービス、企業で働く人、企業と地域との繋がりや社会での役割などを掲載し、地域学習に役立ててもらうとともに、市内企業の魅力を伝える内容。

●方法：生徒が使用しているタブレットへの配信

今後の展開について

内閣官房が進める「地域働き方・職場改革等」の取組として、関係部局で連携しながら継続的に実施していく予定。

九州運輸局交通政策関係表彰 記念
黒島公共ライドシェア「しおさい号」表彰記念
『バラ窓ステンドグラスキーホルダー』
プレゼントキャンペーン

1．企画の目的・背景

黒島における持続可能な島内交通として導入された公共ライドシェア「しおさい号」の取組に関し、この度、地域公共交通の活性化における顕著な功績を認められ、**「九州運輸局交通政策関係表彰」**を受賞いたしました。

本企画は、この栄誉ある受賞を記念し、日頃のご支援への感謝を伝えるとともに、秋の観光シーズンに合わせて黒島を訪れる観光客の皆様へ黒島の魅力をより深く届けることを目的とします。

世界文化遺産「黒島の集落」のシンボルであえる黒島天主堂の象徴「バラ窓」をモチーフにしたノベルティをプレゼントすることで、「しおさい号」の利用促進と観光満足度の向上を図ります。

2．キャンペーン実施概要

企画名称	黒島公共ライドシェア「しおさい号」九州運輸局表彰記念 バラ窓ステンドグラスキーホルダーキーホルダー プレゼントキャンペーン
実施期間	2026 年 11 月 1 日（日）～ 11 月 30 日（月） ※30 日間
対象者	期間中に黒島公共ライドシェア「しおさい号」を観光目的でご利用された方 （※1 人 1 回のご乗車に付き 1 個プレゼント：１人１個限り）
配布方法	「しおさい号」ご乗車時、ドライバーより直接手渡しでお贈りします。
配付数量	先着 30 名様（限定数に達し次第、終了とさせていただきます）

3．記念品（ノベルティ）の仕様と魅力



【記念品名】バラ窓ステンドグラスキーホルダー

■ デザインコンセプト：

黒島のシンボルである「黒島天主堂」の美しいステンドグラス（バラ窓）を忠実に再現したオリジナルキーホルダーです。

■ 特長と魅力：

・透明感のあるステンドグラス調デザインで、光を透かすと美しい色彩が幻想的に影となって浮かび上がります（添付写真参照）。

・ゴールドフレームの高級感ある仕上がりで、旅行の記念品やお土産としても非常に満足度の高いクオリティです。

国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Press Release

令和8年10月27日
国土政策局地方政策課

市原市・南伊勢町・佐世保市の地域づくり3事例が「国土交通大臣賞」を受賞

～「新時代に地域力をつなぐ国土」を体現する9団体を令和8年度「地域づくり表彰」受賞団体に決定～

国土交通省は、関係団体との共催・後援で、創意・工夫ある「地域づくり」の優良事例を表彰する**「地域づくり表彰」**を、昭和59(1984)年以来、実施してきており、今年が43回目となります。
今年度も、全国各地より、数多くの個性豊かな事例を推薦いただき、有識者・学識者等による厳正な審査の結果、優良な9事例について、**「国土交通大臣賞」**等で表彰することとしました。

受賞した各活動は、国土づくりの目標として**「新時代に地域力をつなぐ国土」**を掲げた**「第三次国土形成計画」にも呼応するもの**で、**「持続可能な生活圏の再構築」**や、**「地域を支える人材の確保・育成」**といった重要施策の**先進的取組事例**と言えます。

各活動には、受賞を契機に更なる活発な活動の展開を、また、全国各地の皆様には、各事例をご参照いただき、地域の課題の克服や魅力の向上に向けた取組の更なる進展を期待しています。

○ 主 催：国土交通省、 全国地域づくり推進協議会*1、
全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム*2、一般財団法人 国土計画協会
後 援：株式会社 日本政策投資銀行

○ 今年度は、全国各地から**54団体**が推薦され(昨年度32団体)、うち**9団体**(昨年度10団体)を表彰
○ 各団体の取組の詳細や表彰の様子等は、国土交通省サイト及び特設サイト(※)で紹介されます
(※)「地域づくり表彰」特設サイト(一般財団法人 国土計画協会) https://www.chiikizukuri.kok.or.jp/

表彰名	受賞団体名または活動名の略称（推薦者） （全国地方公共団体コード順）
国土交通大臣賞	**ウエルコミ**（ウエルシア・コミュニケーションセンターいちはら）**（千葉県市原市）**
	南伊勢町 二地域居住推進チーム（三重県南伊勢町）
	Sasebo Change（サセボチェンジ）**（長崎県佐世保市）**
全国地域づくり推進協議会 会長賞	山立会（石川県白山市）
	地域維持レスキュー®（和歌山県有田川町）
全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム賞	三島信用金庫・合同会社うさぎ企画（静岡県三島市）
国土計画協会会長賞	青海ボランティア隊（愛知県常滑市）
日本政策投資銀行賞	水没林ワーキング（山形県飯豊町）
地域づくり表彰審査会 特別賞	広島地区活性化協議会（香川県丸亀市）

*1:「全国地域づくり推進協議会」は、地域づくり活動の発展・拡大に資することを目的とした地方公共団体からなる協議会
*2:「全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム」は、二地域居住を促進する官民の協議会
○ それぞれの表彰式の日時・場所等は、各自治体(別添資料3参照)にお問合せください

「地域づくり表彰」の詳細、過去の事例については
地域づくり表彰 で検索を

【問合せ先】
国土政策局 地方政策課 渡部、馬場
代表:03-5253-8111(内線29-404、29-422)
直通:03-5253-8363

別添資料１

令和８年度「地域づくり表彰」審査会
委 員 名 簿

（〇は座長、敬称略）

（有識者委員）

（五十音順）

	伊藤 聡子（いとう さとこ）	キャスター、事業創造大学院大学 客員教授
○	坂田 一郎（さかた いちろう）	東京大学　執行役･副学長 （バイスプロボスト（学術経営）） 兼 工学系研究科 教授
	三瓶 裕美（さんぺ ひろみ）	「つちのと舎」代表、総務省地域力創造アドバイザー、 地域おこし協力隊サポートデスク専門相談員
	瀬田 史彦（せた ふみひこ）	東京大学大学院 工学系研究科 准教授
	中島 みき（なかじま）	面白法人カヤック 執行役員 （ちいき資本主義事業担当）
	堀口 正裕（ほりぐち まさひろ）	株式会社 第一プログレス 代表取締役社長 兼「ＴＵＲＮＳ」プロデューサー

（共催・後援者委員）

（順不同）

宮川 政夫（みやかわ まさお）	全国地域づくり推進協議会 副会長（棚倉町（たなぐら）長）
平山 浩之（ひらやま ひろゆき）	全国二地域居住等促進官民連携プラットフォーム 共同代表代理（那須町（なすまち）副町長）
小善 真司（しょうぜん しんじ）	一般財団法人 国土計画協会 専務理事
原田 文代（はらだ ふみよ）	株式会社 日本政策投資銀行 取締役常務執行役員
髙本 仁（たかもと ひとし）	国土交通省 国土政策局 地方政策課長

以上

別添資料2

令和8年度「地域づくり表彰」 審査後の総評

今年度の「地域づくり表彰」も、全国各地からユニークで多様な実践例が寄せられた。人口減少や高齢化、担い手不足、獣害、離島性、公共サービスの縮減など、地域を取り巻く課題は年ごとに複雑化している。しかし、今年の推薦事例は、そうした逆風を「**単なる困りごと**」として留めず、「**新たな価値創造の契機**」として、**楽しさややり甲斐とともに**実現したい、という意志に満ちあふれていた。

審査を通じて感じたことを、全国の地域づくり関係者の皆様へのメッセージとして、五つの観点から述べたい。

Ⅰ 課題を直視する力が、地域づくりの出発点である ： 課題の正確な言語化はチカラになる

今年度の事例の特徴は「何に困っているのか」が明確で、優れた事例ほど、その課題を曖昧には語らなかった。「観光客が増えすぎて困る」、「地域に刺激を与えてくれる人が必要」、「山椒を収穫する手が足りない」、「地域の困りごとの相談が無くなった」「新幹線駅があり移住するには東京が近すぎる」等々。

出発点となる課題が具体的で、だからこそ、取るべき行動も明確になり、人々を巻き込むことができた。

困りごとを正確に言語化できた活動ほど、次の一歩が見えてくる、ということを改めて感じた。

Ⅱ 人を動かすのは「コンセプト」と「仕組み」の組み合わせである ： 活動を回す車輪について

では課題は見えた。しかし、それだけでは人は動かない。次の動きを産むのはいったい何なのか。

今年の受賞事例では、**課題に対して魅力的なコンセプトと言葉が与えられていた**ことが印象的だった。「”不満”を”誇り”に」「ワン・ジビエ」「まちの部屋」「地域維持レスキュー」など、それぞれの活動には、人々が理解しやすく共感しやすい「フレーズ」と「物語」があり、「参加したくなる世界観」が提示されていたように感じた。

さらに重要なのは、それが**理念だけに終わっていない**ことである。 シェアキッチン、ドラッグストア内の交流拠点、高校生と地域をつなぐ仕組み、副業人材のマッチング、観光収益を地域保全へ循環させる仕組みなど、それぞれのコンセプトを**実装する、具体的な制度や運営体制**を積み上げていったことが成果へと繋がっていた。

優れた地域づくりは、「共感できる物語」と「実際に物語を動かす仕組み」が 両輪となっている。

Ⅲ 持続可能性の鍵は、「個人・属人」から「チーム」への進化にある ： 一夜の花火で終わらないために

審査会で繰り返し議論されたのが「**持続可能性**」であった。これまでの「地域づくり」の現場には、「この人がいるから成り立つ」という事例が少なくなかった。しかし今年度は、それを乗り越えようとする取組が数多く見られた。

高校生が始めた活動を**法人化**し次世代へ引き継ごうという取組、 **中間支援団体を核とした**行政・企業・住民（団体）の多者連携、 **移住者・二地域居住者「自身が」担い手となる**移住促進の仕組みなど、発端となった一人や少人数の熱意を、組織やチームの力へと転換する努力が随所に見られた。

もちろん、情熱あるリーダーの存在は依然として重要である。しかし、これからの時代に求められるのは、リーダーの背中に続く人材を意識して育てること、そして誰かが抜けても回り続ける構造をつくることである。

今年の事例からは、地域づくりが「属人モデル」から「チームモデル」へと進化しつつあることが感じられた。

Ⅳ 地域の未来を広げるのは、専門性のある多様な主体との連携である ： 企業・金融・大学・農家・漁師等

今回、審査会が注目したのは、企業・金融・大学、副業人材、関係人口等、拡大する多様な主体の連携であった。

企業との連携は、もはや寄附や協賛の段階ではない。地域課題の解決そのものに**企業自身が参画**し、**企業側も学びや価値を得る関係**が生まれている。また、移住や二地域居住の分野では、副業人材や地域外人材が地域に新たな視点を持ち込み、地域も**事業継承を含め**それを受け止める力が培われてきている様子が見られた。

結果、外部人材を「お客様」ではなく、次の動きの継承・成長の担い手として迎え入れている事例が多かった。

「地域づくり」は、もはや地域住民のみでは担いきれない・完結しない一方で、外部依存でも長続きしない。

内と外が相互に刺激しあった協働で、新たな展開や価値を生み出す姿が見られたことが、今年の特徴と言える。

Ⅴ これからの地域づくりを支える「公共の魅力」 ： 公共を担うことの楽しさ・嬉しさ・やりがい

最後に、本年度の審査を通じて最も強く感じたこと。それは**「公共の魅力」の再発見**である。

報酬も無いのに、**なぜ多くの人が地域づくりに関わるのか。** そこには、**地域のために働くこと、人の役に立つこと、自分の力が地域の未来につながることへの喜び**がある。 そこに**「楽しい」「面白い」「やりたい」「うれしい」「誇らしい」**が生まれ加わっていく。 今年の発表者の方々が繰り返し説かれた、こうした組合せこそが活動の原動力だった。 どれほど優れた制度や事業でも、人の心が動かなければ長続きしないし、意義や意味が感じられれば、更なる活動への意欲も高まる。 本年度の応募事例は、**「公共の魅力」を実践を通じて見せてくれた**と思う。

地域づくりとは、地域課題の解決であると同時に、公共を通じ人々が誇りや生きがいを見つける営みでもある。

今回の受賞団体をはじめとする全国の挑戦が、次の地域づくりの時代を切り拓いていくことを期待したい。

令和8年度「地域づくり表彰」審査会 座長　　坂 田 一 郎（東京大学 執行役・副学長）

別添資料３

国土交通大臣賞　（総合的に最も優れた取組）　３事例　（全国地方公共団体コード順）

ウエルコミ（ウエルシア・コミュニケーションセンターいちはら）（千葉県市原市）

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**ドラッグストア発 公民連携型の市民活動・地域共創拠点**

ドラッグストアの遊休スペースを活用し、市・企業・中間支援団体のNPO法人との三者協働により運営される地域交流拠点。市民活動支援センターの廃止で失われた中間支援機能を、日常の買物動線上で再構築。学び・交流・健康・市民活動等の**「場の提供」だけでなく、市民団体・企業・行政をつなぐコーディネート機能も担う**。ここでは、子育て支援、高齢者の健康づくり、居場所づくり等多様な活動が展開され、近年は**子どもの第三の居場所**「ウエルキャン」「居場所フェスタ」、**シニアの地域参加**を促す「グランパフェスタ」、「チバニアン」や化石等の**地域資源を活かした学びの場**等、**多世代交流型の新たな出会いや繋がり**を生み出している。その結果、住民どうしや活動団体・企業・大学・行政等が相互に繋がれ、ここ発の新たな活動や協働が生まれている。


こどもの居場所フェスタ

●選定理由●　**場の提供だけでなく、つながりと出会い創出の仲介役の存在に注目**

「企業が空きスペースを提供する」という事例は各地で多数の事例があるが　本取組は、中間支援団体が、企業・市民団体・行政・大学を有機的に結び付ける**「つながりの編集者」**となり、**新しい出会いと活動の苗床機能**を担い、例えば子どもの居場所づくり団体が、ほぼゼロから44団体超へ増加する等、実績も出ている。日常空間である薬局の敷居の低さを利して、市民活動の裾野を広げながら、多様な主体が継続的に関わる仕組みが構築されている。

本事例は、都市部・郊外・農村部によらず全国各地で、かつ他業態での展開の可能性も見込まれる先進的なモデルといえ、様々な形での各地の展開も期待したい。


フェスタでの　こども薬剤師体験

■問合せ先■　市原市　市民生活部　地域連携推進室　　☎ 0436-23-9998（室直通）

南伊勢町（みなみいせちょう）　二地域居住推進チーム（三重県南伊勢町（みなみいせちょう））

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**まちを ひとつの家に見立てた 多層的な関係人口創出モデル**

南伊勢町二地域居住推進チームは、**「まちを一つの家に見立てる」という独自の発想**のもと、地域外の人が南伊勢町と継続的に繋がりながら役割を担う仕組みを育てている取組である。電車の通らない沿岸・半島地域という条件下で、空き家を再生した**「うみべのいえ」**を拠点に、**キッチン、リビング、クローゼット、アトリエ**などの**機能を分散配置**し、関係人口や二地域居住者の活動拠点として活用している。また、移住者支援を担う地域法人、漁業人材育成団体、地域の関係人口コミュニティ、行政が連携し、漁業、観光、創業、地域活動など**多様な入口を用意**。人を定住へ誘導するのではなく、**その人に合った暮らし方や関わり方を提案しながら**、地域との関係を育んでいる。


漁師になるキッカケを作る漁師塾

●選定理由●　**この町を好きになり、自分もこの町の一員だと思える人を増やす取組に重点**

本取組の最大の特徴は、**二地域居住を**、「移住の前段階」ではなく、**「地域に新たな担い手を生み出す仕組み」として積極的に位置付け**ている点にある。まず地域への「入口」をいくつも作り、そこから仕事や地域との関係を繋いでいくことで、町への関わりの深化を導いている。

その結果、ふるさとワーキングホリデー参加者の再訪や、漁業研修を経た就業者の誕生、空き家を活用した事業創出などの成果を生んでいる。本事例は海を中心とした仕事・暮らし・交流を一体的に支える仕組みだが、臨海地区に限らず人口減少が進む各地でも同様の展開が可能と思われる。


起業と交流の拠点「うみべのいえ」

■問合せ先■　南伊勢町　まちづくり推進課　☎ 0599-66-1366（課直通）

Sasebo Change (サセボチェンジ)（長崎県佐世保（させぼ）市）

詳細はこのQRコードで⇒

●活動概要●　**高校生が創出した 佐世保の未来**

「Sasebo Change（サセボチェンジ）」は、若者が地域や社会との接点を広げながら、自ら地域課題の解決や新たな価値創出に挑戦する**若者主導の地域共創コミュニティ**。高校生有志の学校横断型の活動として始まり、日米高校生交流、英語プラネタリウム、高校生による地元鉄道の活性化企画、高齢者との交流やボランティア活動などを通じ、若者が地域社会の中で実践的な挑戦を重ねている。さらに、**高校卒業後もOB・OGがオンラインや帰省時に活動を支援し、中間支援組織の設立**や**高校生ボランティア養成講座**の実施へと発展した。現在は高校生、卒業生、社会人がそれぞれの立場で関わり続ける**世代横断型の地域共創コミュニティへと成長**している。


日米高校生の合同イベント

●選定理由●　**高校生発の挑戦を次世代へ受け継ぐ：楽しさを起点に地域への愛着を生む**

本取組の優れた点は、創意と元気あふれる高校生の活動だけでなく、そこから得られた経験やネットワークを**卒業後も地域に蓄積・継承し、次の世代へ引き継ぐ仕組みを構築した点**にある。

若者自身の興味や、挑戦したい気持ちを出発点としながら、地域や社会との接点を広げ、**地域への愛着や主体性を育んでいる**。また、高校生、OB・OG、社会人伴走者、行政、地域団体がそれぞれの立場で支え合い、若者の成長と地域との関わりが循環する構造を形成し、**一過性になりがちな若者主体の活動を、持続可能な人材育成の仕組みへ発展**させ、**若者のやる気と成長を中核に、地域との関わりが循環する構造**を生み出している。若者を地域づくりの担い手とした実践は各地にあるが、**卒業後も持続する仕組みの模索と工夫**は、多くの地域に示唆を与える取組として評価したい。


敬老会で交流する高校生

■問合せ先■　佐世保市　地域未来共創部　若者活躍・未来づくり課　　☎ 0956-37-8590（課直通）

貯水状況

R8.10.29定例記者会見
水道局企画経営課　柄本（内線3515）

◉降雨状況

・１０月２３日～２５日の降雨量

中部地域　１２９．５ミリ

南部地域　１２９．０ミリ

◉ダム貯水率

・１０月２６日０時時点

中部地域　９７．４％

南部地域　９２．０％

◉渇水レベル

・佐世保市渇水対策本部解散（１０月２６日）

中部水系　レベル３⇒０

南部水系　レベル５⇒０

北部水系（船ノ村簡水）レベル４⇒０

北部水系（田原水系）　レベル３⇒０

北部水系（その他地区）レベル１⇒０